



紀尾井ホール
室内管弦楽団
Kioi Hall Chamber Orchestra Tokyo
日本製鉄文化財団

2024

Kioi Hall

Chamber Orchestra Tokyo

Principal Conductor: Trevor Pinnock

Subscription Concerts



©武藤卓

紀尾井ホール室内管弦楽団

Kioi Hall Chamber Orchestra Tokyo

2024年度 定期演奏会

定期会員 継続・新規募集のお知らせ

定期会員

4回の定期演奏会を同一曜日・同一座席・お得な料金でご鑑賞いただく4公演**セット券**

■継続のお手続き ウェブで簡単! /

お手続き期間

継続の手続き期間は、「ご継続のご案内」をご覧ください。

■新規募集

新規募集開始 2023年11月1日[Ⓢ]

紀尾井ホールウェブチケット・12:00(正午)～

主催 にっぽんせいてつ 公益財団法人 日本製鉄文化財団

特別協賛  **三井不動産**
MITSUI FUDOSAN

協賛  住友商事株式会社  三菱商事株式会社

(2023年7月確定分)

首席指揮者 トレヴァー・ピノックよりごあいさつ

紀尾井ホール室内管弦楽団(KCO)の首席指揮者として、2024年度のプログラムをご紹介できることを大変嬉しく思います。

2024年度も、私たちのオーケストラには素晴らしいソリストがやってきます。まず新年度の開幕を飾ってくれるピョートル・アンドルシェフスキは、まさに今聴くべき最高のピアニストの一人です。6月に登場する新星クリスティーン・バラナスは、KCOで日本デビューするという幸運に応え、ドヴォルジャークのヴァイオリン協奏曲で驚くべき妙技を披露するだけでなく、その深い音楽的才能を余すところなく聴かせてくれることでしょう。9月のニコラ・アルトシュテットは、バロックから現代までの音楽を苦もなく横断することで私に感銘を与えた、素晴らしく創造的な音楽家です。

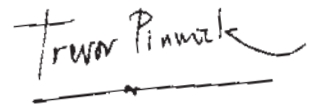
私たちKCOの2024年度シーズンは、グノーの管楽器のための小交響曲でスタートします。管楽器奏者の妙技が最大限に発揮され、“ベル・エポック”の Пари を魅力的に呼び起こす作品です。またこの回では、ルトスワフスキの弦楽のための序曲という刺激的で挑戦的な作品も演奏します。9月にKCOを初めて指揮するピエール・デュムソーは得意とするフランスの舞台作品を中心にプログラムを組みました。ビゼーの有名な《アルルの女》組曲では思わず足でリズムをとりたくなるでしょうし、ルーセルの雰囲気豊かなバレエ組曲《蜘蛛の饗宴》では自然や昆虫たちの世界に引き込まれるはずです。

私が指揮する回でもヴェーバーの歌劇《オイリアンテ》序曲ではその中心に初期ドイツ・ロマン主義があることや、シューマンの交響曲第1番《春》では作曲者自身が当時の指揮者タウベルトに宛てて「最初のトランペットは高所からの目覚めの呼びかけのように鳴り響いてほしいのです。さらに序奏では、蝶が舞い、世界が緑に変貌し、次にアレグロで、春のすべてが生き生きと動き出すさまを音楽で表現したい」と書いているように、春や自然の豊潤なイメージをお感じいただけたらと思います。

できることなら、私は自分の回だけでなくこれらKCOのコンサートのすべてを、皆さんと一緒にできたらいいのと思っています。これまでに演奏者としても観客としてもこのホールを満喫してきました。音楽の本場ともいべきこの紀尾井ホールで演奏することは、私にとって常に音楽人生のハイライトです。首席指揮者として、音楽の豊かさや喜びをすべて備えたこのオーケストラを指揮できることは私にとっての特権、特別な栄誉なのです。

そして2024年度の最後には、オペラ・ブッフア《ゴジ・ファン・トゥッテ》を演奏会形式で上演することとなりました。KCO初となる演奏会形式でのオペラ上演を私自身心から楽しみにしています。そのためソリストも、一切の妥協なく日本とヨーロッパから精鋭ばかりを集めました。とても特別な公演となりますので、ぜひ一人でも多くの方にお聴きいただければと思います。

トレヴァー・ピノック



トレヴァー・ピノック
© Gerard Collett

首席指揮者 トレヴァー・ピノック

Trevor Pinnock, Principal Conductor

1946年英国カンタベリー生まれ。王立音楽院でオルガン・チェンバロを学び、アカデミー室内管等で活動を開始。1966年にガリヤード・トリオでロンドン・デビュー、1968年チェンバロ奏者としてソロ・デビューした。1972年ピリオド楽器オーケストラ「イングリッシュ・コンサート」を7名で創設しすぐに発展拡大、世界的名声を獲得した。2003年まで30年間にわたって同楽団を率いた後、勇退。以降は指揮、独奏、室内楽や数々の教育プロジェクトなどに活動の幅を広げている。2006年には自身の60歳の記念にヨーロッパ・ブランデンブルク・アンサンブルを創設し、その《ブランデンブルク協奏曲》全曲のディスクは2008年のグラモフォン・アワードに輝いた。2011～2015年シーズンに首席客演指揮者を務めたモーツァルト管をはじめ、ドイツ・カンマーフィル、ロス・フィル、ゲヴァントハウス管、コンセルトヘボウ管、フランス国立管、サンタ・チェチーリア管ほかに定期的に出演。

2022/23シーズンは、これまでにボルツァーノ=トレント・ハイドン管(モーツァルト《レクイエム》)、ロイヤル・アカデミー・オペラ(ストラヴィンスキー 歌劇《放蕩児の遍歴》)、パリ室内管(ソリスト:レ・ヴァン・フランセ)、バーゼル室内管およびモーツァルト管(ともにソリスト:ピレシュ)、ポツダム室内アカデミー(ソリスト:ポディヨモフ)、フランス国立管(ソリスト:ピレシュ)を指揮、12月には再びフランス国立管(ソリスト:ギル・シャム)と、2024年にはコンセルトヘボウ管に出演する。

また、2021年にはダニエル・ハーディングの後任として、イタリア・ピサの音楽祭「アニマ・ムンディ」(ジュゼッペ・シノーポリ創設)の音楽監督にも就任している。

最新作の録音では、バッハ:平均律クラヴィア曲集第2巻全曲(2021年)、またトマス・エラー編曲の室内管弦楽版バッハ《パルティータ集》が2023年秋リリースされる予定。1992年大英帝国勲章CBE、1998年フランス芸術文化勲章オフィシエ受章。

紀尾井ホール室内管弦楽団 2024年度定期演奏会

第138回 繊細で思慮に富むピアノが魅力のアンデルシェフスキ、ウィーンの夢あふれるコンチェルトで再登場

The 138th Subscription Concert

2024年4月19日(金)19時開演 | 20日(土)14時開演
19:00 on 19th & 14:00 on 20th April, 2024

指揮 & ピアノ
Conductor & Piano

ピョートル・アンデルシェフスキ
Piotr Anderszewski

グノー
Gounod

小交響曲変ロ長調
Petite Symphonie for 9 Wind Instruments in B-flat major

モーツァルト
Mozart

ピアノ協奏曲第23番イ長調 K.488
Piano Concerto No. 23 in A major K. 488

ルトスワフスキ
Lutoslawski

弦楽のための序曲
Overture for Strings

ベートーヴェン
Beethoven

ピアノ協奏曲第1番ハ長調 op.15
Piano Concerto No. 1 in C major op. 15



ピョートル・アンデルシェフスキ
© Simon Fowler

聴きどころ

2024年度最初の定期演奏会はアンデルシェフスキの再来で幕を開けます。大好評を得た前回同様、彼の弾き振りによるコンチェルト2曲と指揮なしによる2曲を演奏します。コンチェルトは、澄み切った抒情がひたすら美しいモーツァルトの第23番と、当時ウィーンに居を移し夢にあふれていたベートーヴェンの活みなぎる第1番でアンデルシェフスキの魅力が花開く2曲です。指揮なしではアンデルシェフスキゆかりのフランスとポーランドの作品で、管楽合奏と弦楽合奏によるサウンドの多様さをお楽しみください。

■1公演券発売日 2024/1/12(金)12:00(正午)~

第139回 ピノックの新鮮な解釈が冴える初期ロマン派の瑞々しい傑作3題

The 139th Subscription Concert

2024年6月21日(金)19時開演 | 22日(土)14時開演
19:00 on 21st & 14:00 on 22nd June, 2024

指揮
Conductor

トレヴァー・ピノック
Trevor Pinnock

ヴァイオリン
Violin

クリスティーネ・バラナス
Kristine Balanas

ヴェーバー
Weber

歌劇《オイリアンテ》序曲
Overture to the Opera «Euryanthe»

ドヴォルジャーク
Dvořák

ヴァイオリン協奏曲イ短調 op.53
Violin Concerto in A minor op. 53

シューマン
Schumann

交響曲第1番変ロ長調《春》op.38
Symphony No.1 in B-flat major «Spring» op. 38



トレヴァー・ピノック
© 武藤章



クリスティーネ・バラナス

聴きどころ

首席指揮者ピノックの本年度1回目は初期ロマン派名曲集です。就任してからこれまでの僅かな期間だけでもワーグナーやショパン、シューベルトなどロマン派レパートリーでもピノックの素晴らしさは折り紙付き。今回は颯爽として鮮やかなヴェーバーの《オイリアンテ》に、ラトヴィアの名花クリスティーネ・バラナスを独奏に迎えたドヴォルジャークのヴァイオリン協奏曲、そしてピノックが日本で初披露するシューマンをご用意しました。華やかな瑞々しい音楽で皆さまをお迎えます。

■1公演券発売日 2024/3/22(金)12:00(正午)~

第140回 文学が香り、舞台を彷彿させる知的なプログラムでデュムソーが東京でシンフォニー・デビューを果たす

The 140th Subscription Concert

2024年9月20日(金)19時開演 | 21日(土)14時開演
19:00 on 20th & 14:00 on 21st September, 2024

指揮
Conductor

ピエール・デュムソー
Pierre Dumoussaud

チェロ
Cello

ニコラ・アルトシュテット
Nicolas Altstaedt

ルーセル
Roussel

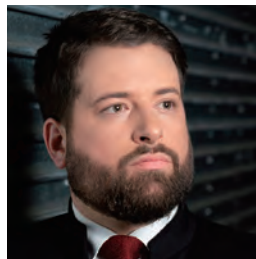
交響的断章《蜘蛛の饗宴》op.17
Fragments symphoniques «Festin de l'araignée» op. 17

プロコフィエフ
Prokofiev

交響的協奏曲ホ短調 op.125
Sinfonia Concertante in E minor op. 125

ビゼー
Bizet

劇付随音楽《アルルの女》第1組曲・第2組曲
Incidental music «L'Arlésienne» Suite No. 1 & No. 2



ピエール・デュムソー
© Edouard Brane



ニコラ・アルトシュテット
© Marco Borggreve

聴きどころ

パリ・オペラ座などで活躍を繰り返しているデュムソーが東京で初のシンフォニー・コンサートを指揮します。テーマは文学に基づく舞台用作品。ファーブルの『昆虫記』に想を得て書かれたルーセルの《蜘蛛の饗宴》はバレエのために、ドーデの同名小説に基づくビゼーの《アルルの女》は戯曲に付けられた音楽です。コンチェルトにはアルトシュテットを再び迎え、プロコフィエフの壮大な交響的協奏曲を。こちらにも《ロミオとジュリエット》の旋律が聴こえ、文学の香りを放ちます。

■1公演券発売日 2024/5/24(金)12:00(正午)~

第141回 ピノックが首席指揮者3年目に集大成として贈るアンサンブル・オペラの傑作

The 141st Subscription Concert

2025年 3月14日 金 18時開演 | 16日 日 14時開演
18:00 on 14th & 14:00 on 16th March, 2025

指揮
Conductor

トレヴァー・ピノック
Trevor Pinnock

フィオルディリジ (ソプラノ)
Fiordiligi (Soprano)

マンディ・フリードリヒ
Mandy Fredrich

ドラベッラ (メゾソプラノ)
Dorabella (Mezzosoprano)

湯川亜也子
Ayako Yukawa

グリエルモ (バリトン)
Guglielmo (Baritone)

コンスタンティン・クリメル
Konstantin Krimmel

フェッランド (テノール)
Ferrando (Tenor)

マウロ・ペーター
Mauro Peter

デスピーナ (ソプラノ)
Despina (Soprano)

ラウリーナ・ベンジューナイテ
Lauryna Bendžiūnaitė

ドン・アルフォンソ (バス・バリトン)
Don Alfonso (Bass Baritone)

平野 和
Yasushi Hirano

通奏低音 & 声楽コーチ
Basso Continuo & Vocal Coach

ペドロ・ベリソ
Pedro Beriso

第141回のみ、1日目 金曜日(3月14日)が18時開演*、
2日目が日曜日(3月16日)**となります。

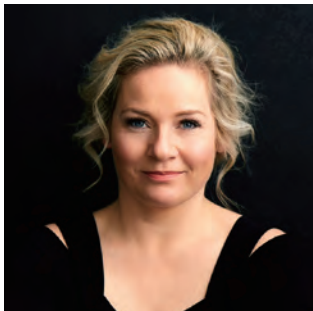


トレヴァー・ピノック
© 武蔵章

モーツァルト
Mozart

歌劇《コジ・ファン・トゥッテ》K.588 [演奏会形式/上演時間・約3時間]

Dramma giocoso «Cosi fan tutte, ossia La scuola degli amanti» K. 588 [Concert performance for 3 hours approximately]



マンディ・フリードリヒ
© Steffi Henn



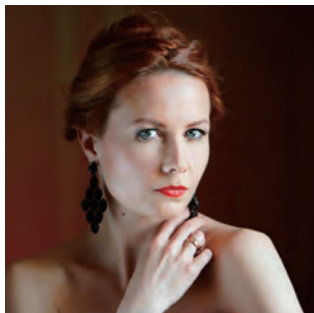
湯川亜也子



コンスタンティン・クリメル
© Flo Huber



マウロ・ペーター
© Christian Felber



ラウリーナ・ベンジューナイテ
© R.T. Dunphy



平野 和
© 武蔵章



ペドロ・ベリソ
© Marcel Lennartz

聴きどころ

KCOは楽団としての可能性を常に広げながら、「次はどんなものを聴かせてくれるだろう」と期待される存在となることを目指しています。そこで今回は、ピノックの首席指揮者3年目を締めくくる定期にあたり、今回はKCOにとって初めての試みとなる演奏会形式によるオペラを取り上げることにしました。

「コジ・ファン・トゥッテ」は女の愛を試そうとする男たち、自由な恋愛に惹かれ浮気心をくすぐられる女たちの恋模様を描いたアンサンブル・オペラの傑作。ソリストにも登場人物それぞれの魅力を引き出す、最高の布陣を揃えました。バレンボイムやメータと共演するマンディ・フリードリヒ、バイエルン州立歌劇場のホープでユロフスキやヴァイグレに重用されるコンスタンティン・クリメル、平野和はウィーン・フォルクスオーパーの専属として活躍しています。さらに2023年のメンデルスゾーン・プログラムを歌うラウリーナ・ベンジューナイテ、マウロ・ペーター、湯川亜也子が再び舞台に立ちます。

■1公演券発売日 2024/9/13(金) 12:00(正午)～

※出演者・曲目・演奏順は予告なく変更となる場合があります。予めご了承ください。

定期会員のご案内

定期会員になると…

年間4回の紀尾井ホール室内管弦楽団 定期演奏会を同一の曜日に同一のお座席でお得にお楽しみいただけます。
会員限定の特典もご用意しています。

定期会員特典

あなただけの特等席「定期会員座席」

- ・全公演とも同一の曜日に同一のお座席でご鑑賞いただけます。ただし、**2024年度は2025年3月16日公演のみ日曜日となります。**
＜1日目の公演＞金曜日19時開演 2024年4月19日、6月21日、9月20日、2025年3月14日（本公演のみ18時開演）
＜2日目の公演＞土曜日14時開演 2024年4月20日、6月22日、9月21日、2025年3月16日（本公演のみ**日曜日**）

おトクな会員割引価格

- ・1公演券の定価に比べ、**約1.5～2割引**となり、大変お得です。
- ・また、定期会員の皆様が**1公演券を追加購入**される場合には**定価の10%引**でご購入いただけます。

「紀尾井だより」と「紀尾井ホール公演カレンダー」を無料進呈

- ・ホール広報誌「紀尾井だより」と「紀尾井ホール公演カレンダー」を**無料**でお送りします。

定期会員のためのイベントの開催

- ・紀尾井ホール室内管弦楽団メンバーとの**交歓会**や**リハーサル見学**にご参加いただけます。

継続・退会について

- 「定期会員ご継続のご案内」をご覧ください。必ずお手続きください。

新規お申込みについて

新規受付開始 **2023年11月1日**  紀尾井ホールウェブチケット・**12:00(正午)～**

- 紀尾井ホールウェブチケットでお申込みください。電話でのお申込みはできません。
- 紀尾井ホールウェブサイトの公演情報ページから、紀尾井ホールウェブチケットの定期会員券のお手続きページにお進みください。
- 紀尾井ホールウェブチケットにすでにログインしている場合には、「**セット券**」のタブをクリックして、お手続きください。
- 紀尾井ホールウェブチケットご利用登録・操作に関するお問合せは、紀尾井ホールウェブチケット・ヘルプデスク tel: 0570-550372をご利用ください。
(ナビダイヤル/12時～16時 火～金(祝日も営業)、土・日・月休)

料金(税込)

	S席	A席	B席
定期会員 【2024年度特別料金】 第138回～第141回の同一曜日4公演 セット券	33,500円 (7,500円/第141回を除く) 11,000円/第141回	28,300円 (6,500円/第141回を除く) 8,800円/第141回	20,700円 (4,600円/第141回を除く) 6,900円/第141回
1公演券(第141回を除く)	8,800円	7,800円	5,800円
1公演券【特別料金】(第141回)	13,000円	10,500円	8,500円
U29 1公演券(第141回を除く) (公演当日に29歳以下の方対象)		2,000円	1,500円
U29 1公演券【特別料金】(第141回) (公演当日に29歳以下の方対象)		4,500円	3,500円

- 料金は税込です。本紙掲載の料金のほか、発券時に所定の手数料がかかります。手数料はお支払方法により異なります。
- 定期会員お申込み後、特別なご事情により公演日振替(金→土・金→日/土→金・日→金の振替)をご希望の場合は、該当する公演の1公演券発売日から公演日1週間前までにお申し出ください。ただし公演日振替は1公演につき1回限りです。詳細はこちら https://kioihall.jp/kco_transfer
- 一度ご購入いただいたチケットのキャンセルや変更はできません。

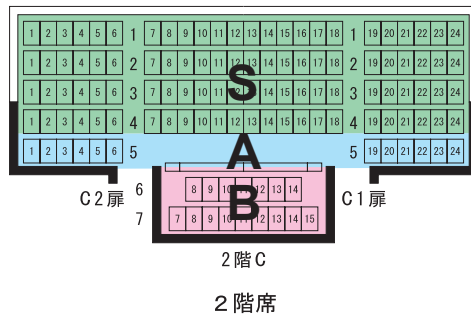
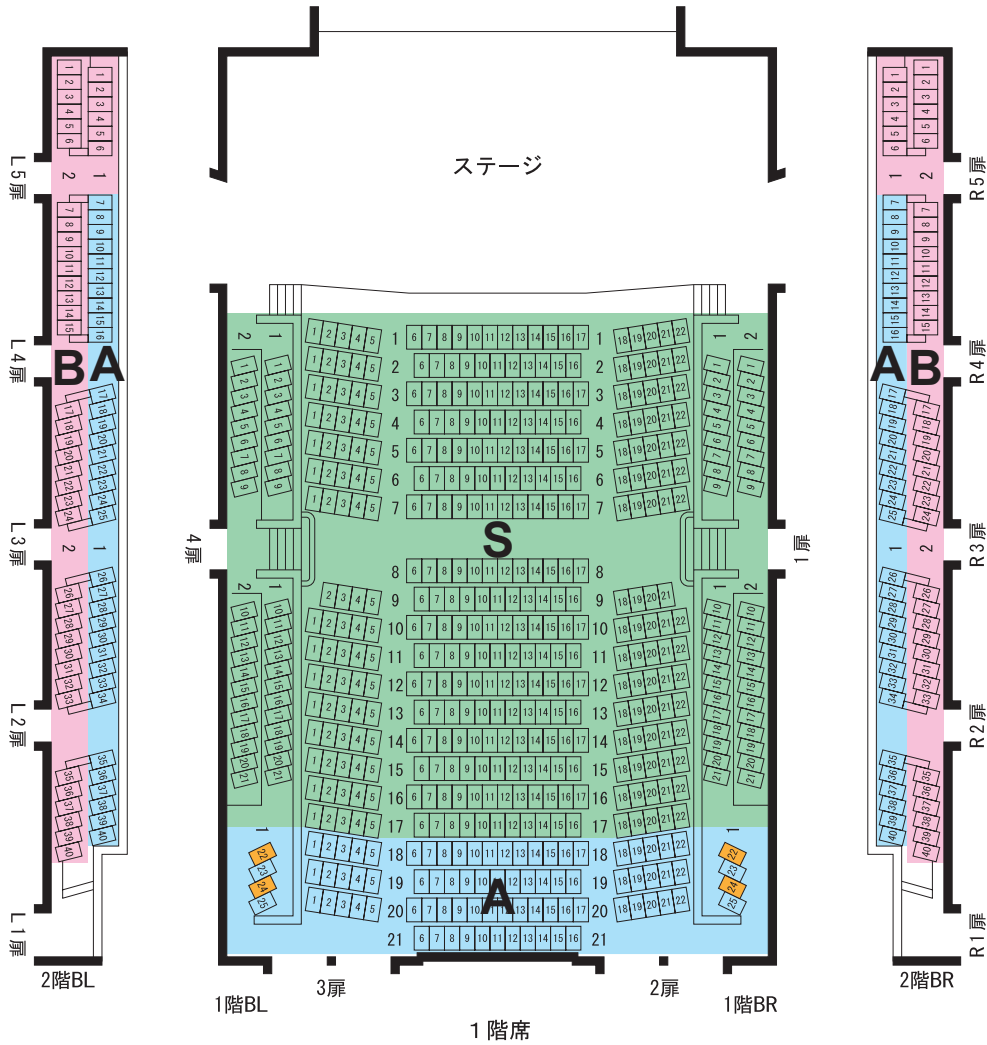
お申込み
お問合せ

紀尾井ホールウェブチケット
<https://kioihall.jp/tickets>



※出演者・曲目・演奏順は予告なく変更となる場合があります。予めご了承ください。
※小学生のご鑑賞には保護者(成人)のご同伴をお願いします。
※乳幼児等未就学の方のご同伴・ご入場はご遠慮ください。
※車椅子でご鑑賞の方は「車椅子専用」からお選びください。車椅子専用エリア(A席)です。

定期演奏会の座席割 & アクセスマップ



- = S席
- = A席 (車椅子専用席)
- = B席

紀尾井ホール アクセスマップ



- [最寄駅] ● 四ツ谷駅 (JR線・丸ノ内線・南北線) 麹町口ほか 徒歩6分
- 麹町駅2番出口 (有楽町線) 徒歩8分
 - 赤坂見附駅D出口 (銀座線・丸ノ内線) 徒歩8分
 - 永田町駅7番出口 (半蔵門線・有楽町線) 徒歩8分

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町6番5号
 ☎03-5276-4500 (代)
 紀尾井ホールウェブサイト <https://kioihall.jp>



©武藤章

紀尾井ホール室内管弦楽団 Kioi Hall Chamber Orchestra Tokyo

1995年紀尾井ホール開館時に同ホールを本拠とする演奏団体「紀尾井シンフォニエッタ東京」として発足。国内外の第一線で活躍する演奏家が集い、設立当初の尾高忠明（現・桂冠名誉指揮者）のリーダーシップや、数多く一流演奏家たちとの共演を経て、日本を代表する室内管弦楽団の一つとなっている。その高い演奏技術とアンサンブル能力に裏打ちされた豊かな音楽性には定評がある。年4〜5回の定期演奏会のほか、2000年当団初の欧州ツアー、2005年のドレスデン音楽祭出演、2012年の米国4公演、2015年と2016年の別府アルゲリッチ音楽祭出演、2016年、2019年の東京・春・音楽祭出演、2018年の風と緑の楽都音楽祭出演など、広く積極的に演奏活動を行っている。これまでに、武満徹作品集『How slow the Wind』（BIS/2001年）、『マリオ・ブルネロ&紀尾井シンフォニエッタ東京』（ビクター/2004年）、指揮なしによるプロコフィエフ《古典交響曲》（EXTON/2005年）、川久保賜紀とのヴィヴァルディ《四季》（avex classics/2009年）、A.ナット指揮のベートーヴェン交響曲

第5番《運命》（EXTON/2010年）とブラームス交響曲第4番（EXTON/2014年）、編曲者自身の指揮によるバッハ＝シトコヴェツキー《ゴルトベルク変奏曲》（マイスター・ミュージック/2015年）、ホーネック指揮によるモーツァルト交響曲第25番&ベートーヴェン交響曲第7番（EXTON/2020年）、ホーネックが独奏とコンサートマスターを務めた『モーツァルト《セレナータ・ノットウルナ》&ベートーヴェン弦楽四重奏曲第14番』（EXTON/2021年）、未曾有の感染症拡大による半年の中止から満を持して再開した「第123回定期演奏会 2020年9月ライブ」（OVCL-00797/2022年）などのCDをリリースし、いずれも高い完成度と優れた音楽性で好評を得ている。2017年4月、団体名を「紀尾井ホール室内管弦楽団」に改称。同時に「求心力」と「発信力」、「洗練された音楽作り」を目指しライナー・ホーネックを首席指揮者に迎えた。2022年4月、第3代首席指揮者としてトレヴァー・ピノックが就任。

運営：公益財団法人 日本製鉄文化財団

桂冠名誉指揮者 尾高 忠明
名誉指揮者 ライナー・ホーネック *Rainer Honeck*
首席指揮者 トレヴァー・ピノック *Trevor Pinnock*
桂冠演奏家 菅沼 準二 杉木 峯夫 河原 泰則

メンバー

コンサートマスター	玉井 菜採	千々岩 英一	アントン・バラホフスキー			
ヴァイオリン	井上 静香 鎌田 泉 野口 千代光	今井 睦子 城戸 かれん 森岡 聡	尾池 亜美 田代 裕貴 山崎 貴子	大宮 臨太郎 千葉 純子 山本 千鶴	小川 有紀子 寺岡 有希子 山本 はづき	景山 裕子 戸原 直
ヴィオラ	安藤 裕子 中村 智香子	市坪 俊彦 馬淵 昌子	伊藤 慧 森口 恭子	小峰 航一	篠崎 友美	鈴木 学
チェロ	伊東 裕	大友 肇	菊地 知也	中木 健二	丸山 泰雄	
コントラバス	池松 宏	助川 龍	吉田 秀			
フルート	相澤 政宏	難波 薫	野口 みお			
オーボエ	池田 昭子	広田 智之	森枝 繭子			
クラリネット	勝山 大舗	金子 平				
ファゴット	岩佐 雅美	福士マリ子	水谷 上総			
ホルン	勝俣 泰	日橋 辰朗	丸山 勉	和田 博史		
トランペット	杉木 淳一朗	古田 俊博				
ティンパニ	武藤 厚志					

（パート別・五十音順／2023年7月現在）

日本橋は
何百年も続く街。
けれど、
いつも新しい。

日本橋を愛する人たちが
みんなでの街をつくり、
守り、受け継いできた。
三井不動産は
街の人と一緒に
何百年も続く
この街のバトンを
次の世代へと繋げていく。
“街”は長い時間をかけて
育っていくんだ、
とずばは思った。

#日本橋
#残しながら
#蘇らせながら
#創っていく

三井のすずちゃん

三井でふふふ♪



◀三井のすずちゃんページはこちら

紀尾井ホールにご支援いただいている企業および個人の方々です

紀尾井サポートシステム会員

(五十音順・「株式会社」等表記及び敬称略)

- 《特別協賛会員》 日鉄ソリューションズ/三井不動産/三井物産/三菱商事/三菱地所
- 《みやび会員》 伊藤忠商事/大島造船所/商船三井/菅原/住友商事/日本郵船/丸紅/三井住友銀行/三井不動産/三井物産/三菱商事/三菱地所/メタルワンほか匿名2社
- 《ひびき会員》 オカムラ/高砂熱学工業/竹中工務店/東京きらぼしフィナンシャルグループ/山下設計
- 《みどり会員》 青鬼運送/赤坂維新號/今治造船/ヴォートル/エーケーディ/NTTDocomo/荏原冷熱システム/鹿島建設/ザ・キャピトルホテル 東急/三協/清水建設/上智大学/西武リアルティソリューションズ/大成建設/千代田商事/デイト・ライフ/東芝ライテック/永田音響設計/ニュー・オータニ/ハウス食品グループ本社/パナソニック/三井住友信託銀行/三菱UFJ銀行/三菱UFJ信託銀行/三菱UFJモルガン・スタンレー証券/ミュージション/明治座舞台/ヤマハサウンドシステム/ワークショップ21
- 《あおい会員》 青木陽介/浅見 恵/石崎智代/磯部治生/伊藤眞理子/井上善雄/岩城宏斗司/上野真志/馬屋原貴行/大内裕子/大垣尚司/大久保なほ子/太田清史/小川 保/小倉 ヒロ・ミハエル/小樽茂稔/糟谷敏秀/片山國正/片山能輔/加藤巻恵/加藤優一/神川典久/川口祥代/川島知恵/菊池恒雄/木谷 昭/楠野貞夫/栗山信子/河野紗妃/小坂部恵子/小西美由紀/斎藤公善/坂詰貴司/佐久間庸行/佐部いく子/潮崎通康/清水 正/清水多美子/清水康子/白土英明/鈴木順一/鈴木 亮/高下謹壹/武上由佳/田中 進/戸田純也/外山雄三/鳥居莊太/内藤基之/中塚一雄/中西達郎/中野洋子/中村健司/中山昌樹/名取正夫/西村勉美/原田清朗/日原洋文/冬木寛義/北條哲也/堀川将史/牧本恵美子/松枝 力/松本美恵/丸井正樹/齋輪永世/宮島正次/宮田宣子/宮武悦子/宮原 薫/宮本信幸/陸田 実/村上喜代次/村上敏子/持留宗一郎/八木一夫/八木晶子/矢田部靖子/山内寿実/横手 聡/渡邊一夫/渡辺弘次/渡辺由香里 ほか匿名45名 計242口

(2023年7月1日現在)

紀尾井ホール室内管弦楽団は皆さまの温かいご支援により活動しています

紀尾井サポートシステム《あおい会員》(個人のご寄附) ご入会のお願い

日本製鉄文化財団では、クラシック音楽と伝統邦楽の質の高いステージを紀尾井ホールと紀尾井小ホールでお届けしています。法人・個人の皆さまの熱い思いがこもったご支援は、これらの事業を継続・発展に欠かせないものです。当財団では寄附会員制度として、紀尾井サポートシステムを設けています。個人の皆さまは、ぜひ《あおい会員》としてご支援ください。

年会費 1口 1万円 (何口でもお申込可能です。不課税)

会員期間 1年間

特典 ・各種ホール発行媒体等へのご芳名掲載(ご希望者のみ)
・情報誌等無料進呈 ・財団主催公演チケットの割引(10%引き)
・特定公演へのご案内

詳しくはウェブサイトをご覧ください。 **紀尾井サポートシステム あおい会員** **検索** 右のQRコードからもご覧いただけます。

電話でのご入会・お問合せは 紀尾井サポートシステム事務局 電話03-5276-4543

*電話受付時間は紀尾井ホールウェブサイトでご確認ください。

